

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成31年1月10日 (2019.1.10)

【公表番号】特表2017-537405(P2017-537405A)

【公表日】平成29年12月14日 (2017.12.14)

【年通号数】公開・登録公報2017-048

【出願番号】特願2017-528534(P2017-528534)

【国際特許分類】

G 0 6 F 16/00 (2019.01)

G 0 6 F 16/30 (2019.01)

G 0 6 F 21/62 (2013.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 1 2 0 A

G 0 6 F 17/30 1 7 0 A

G 0 6 F 17/30 2 1 0 D

G 0 6 F 21/62 3 4 5

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月26日 (2018.11.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プライベート電子データから**プライバシーファイアウォールの外側に位置するリモートコンピュータへ非プライベート情報を決定して提供するプライバシーファイアウォールを実装するシステムであって、**

前記プライベート電子データのコーパスを含むデータストレージリポジトリと、
処理装置と、

1 又は 2 以上のプログラム命令を含む非一時的プロセッサ可読記憶媒体と、を備え、

前記 1 又は 2 以上のプログラム命令は、実行時に、前記処理装置に、

前記プライバシーファイアウォールの外側に位置する前記リモートコンピュータから、プライベート電子データの前記コーパスの 1 又は 2 以上の部分にアクセスするリクエストを含むクエリを受け取ることと、

前記プライバシーファイアウォールの内側のプライベート電子データの前記コーパスを分析して、非プライベート情報を含む第 1 の 1 又は 2 以上のデータ部分と、プライベート情報を含む第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分とを識別することと、

前記第 1 の 1 又は 2 以上のデータ部分に、前記プライバシーファイアウォールの外側で利用できるものとしてタグ付けすることと、

前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が、**プライベートではない前記プライベート情報から導出される前記プライベート情報又は追加データの部分である非プライベート要素を含むことを決定することと、**

前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分から前記非プライベート要素を抽出することであって、前記プライベート要素の残部は非抽出要素である、抽出することと、

前記非プライベート要素に、前記プライバシーファイアウォールの外側で利用できる情報としてタグ付けすることと、

前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分からの前記非抽出要素を前記プライバシーファ

イアウォールの外側での使用が拒否されるものとしてタグ付けすることと、

非プライベート情報を含む前記第 1 の 1 又は 2 以上のデータ部分及び前記非プライベート要素のうちの 1 又は 2 以上を前記プライバシーファイアウォールの外側に位置する前記リモートコンピュータへ提供することと、

を行わせる、システム。

【請求項 2】

実行時に前記処理装置にプライベート電子データの前記コーパスを分析することを行わせる前記 1 又は 2 以上のプログラム命令は、前記処理装置に、

プライベート電子データの前記コーパスが除外リスト上のソースから取得されたものであるかどうかを判定することと、

プライベート電子データの前記コーパスが前記除外リスト上のソースから取得されたものである場合、プライベート電子データの前記コーパスに、前記プライバシーファイアウォールの外側での使用が拒否されるものとしてタグ付けすることと、

を更に行わせる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

実行時に前記処理装置に前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が非プライベート要素を含むかどうかを判定することを行わせる前記 1 又は 2 以上のプログラム命令は、前記処理装置に、

前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が、他の場所に出現していた 1 又は 2 以上の要素を含むかどうかを判定することと、

前記 1 又は 2 以上の下位部分が他の場所に出現していた場合、前記要素に非プライベート要素としてタグ付けすることと、

を更に行わせる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

実行時に前記処理装置に前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が非プライベート要素を含むかどうかを判定することを行わせる前記 1 又は 2 以上のプログラム命令は、前記処理装置に、

前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が、閾値数の異なるソースから出現した 1 又は 2 以上の要素を含むかどうかを判定することと、

前記 1 又は 2 以上の要素が少なくとも前記閾値数の異なるソースから出現したものである場合、前記 1 又は 2 以上の要素に非プライベート要素としてタグ付けすることと、

を更に行わせる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

実行時に前記処理装置に前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が非プライベート要素を含むかどうかを判定することを行わせる前記 1 又は 2 以上のプログラム命令は、前記処理装置に、

前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が、既に公知の情報を含む 1 又は 2 以上の要素を含むかどうかを判定することと、

前記 1 又は 2 以上の要素が既に公知の情報を含む場合、前記 1 又は 2 以上の要素に非プライベート要素としてタグ付けすることと、

を更に行わせる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

実行時に前記処理装置に前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が非プライベート要素を含むかどうかを判定することを行わせる前記 1 又は 2 以上のプログラム命令は、前記処理装置に、

前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が、1 又は 2 以上の要素が独占情報であると主張できるような複雑な 1 又は 2 以上の要素を含むかどうかを判定することと、

前記 1 又は 2 以上の要素が複雑である場合、前記 1 又は 2 以上の要素に、前記プライバシーファイアウォールの外側での使用が拒否されるものとしてタグ付けすることと、

を更に行わせる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

実行時に前記処理装置に前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が非プライベート要素を含むかどうかを判定することを行わせる前記 1 又は 2 以上のプログラム命令は、前記処理装置に、

前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が、認識可能な連続性を有する 1 又は 2 以上の下位部分を含むかどうかを判定することと、

前記 1 又は 2 以上の下位部分が認識可能な連続性を有する場合、前記 1 又は 2 以上の下位部分に、前記プライバシーファイアウォールの外側での配信が拒否されるものとしてタグ付けすることと、

を更に行わせる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 8】

実行時に前記処理装置に前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が非プライベート要素を含むかどうかを判定することを行わせる前記 1 又は 2 以上のプログラム命令は、前記処理装置に、

前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が、正確なタイムスタンプを有する 1 又は 2 以上の要素を含むかどうかを判定することと、

前記 1 又は 2 以上の要素が正確なタイムスタンプを有する場合、前記 1 又は 2 以上の要素に、前記プライバシーファイアウォールの外側での使用が拒否されるものとしてタグ付けすることと、

を更に行わせる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 9】

実行時に前記処理装置に前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が非プライベート要素を含むかどうかを判定することを行わせる前記 1 又は 2 以上のプログラム命令は、前記処理装置に、

前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が、細分性閾値を下回るタイプスタンプを有する 1 又は 2 以上の要素を含むかどうかを判定することと、

前記タイムスタンプが前記細分性閾値を下回る場合、

前記 1 又は 2 以上の要素を、前記細分性閾値を上回る時間範囲に調整することと、

前記 1 又は 2 以上の調整した要素に非プライベート要素としてタグ付けすることと、

を更に行わせる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 10】

実行時に前記処理装置に前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が非プライベート要素を含むかどうかを判定することを行わせる前記 1 又は 2 以上のプログラム命令は、前記処理装置に、

前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が、細分性閾値を下回る地理的位置を有する 1 又は 2 以上の要素を含むかどうかを判定することと、

前記地理的位置が前記細分性閾値を下回る場合、

前記 1 又は 2 以上の要素を、前記細分性閾値を上回る地理的位置に調整することと、

前記 1 又は 2 以上の調整した要素に非プライベート要素としてタグ付けすることと、

を更に行わせる、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 11】

実行時に前記処理装置に前記第 1 の 1 又は 2 以上のデータ部分及び前記非プライベート要素のうちの 1 又は 2 以上を前記リモートコンピュータへ提供することを行わせる前記 1 又は 2 以上のプログラム命令は、前記処理装置に、

ユーザインターフェイスを介して前記クエリに対する応答をユーザに提供することを更に行わせるものであり、前記クエリに対する前記応答は、非プライベート情報を含む前記第 1 の 1 又は 2 以上のデータ部分及び前記非プライベート要素のうちの 1 又は 2 以上から取得された情報を含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 12】

プライベート電子データからプライバシーファイアウォールの外側に位置するリモート

コンピュータへ非プライベート情報を決定して提供するプライバシーファイアウォールの実装方法であって、

前記プライバシーファイアウォールの外側に位置する前記リモートコンピュータから、プライベート電子データの前記コーパスの 1 又は 2 以上の部分にアクセスするリクエストを含むクエリを受け取るステップと、

処理装置によって、前記プライバシーファイアウォールの内側のストレージリポジトリに含まれるプライベート電子データのコーパスを分析して、非プライベート情報を含む第 1 の 1 又は 2 以上のデータ部分と、プライベート情報を含む第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分とを識別するステップと、

前記処理装置によって、前記第 1 の 1 又は 2 以上のデータ部分に、前記プライバシーファイアウォールの外側で利用できるものとしてタグ付けするステップと、

前記処理装置によって、前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が、プライベートではない前記プライベート情報から導出される前記プライベート情報又は追加データの部分である非プライベート要素を含むかどうかを判定するステップと、

前記処理装置によって、前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分から前記非プライベート要素を抽出するステップであって、前記プライベート要素の残部は非抽出要素である、抽出するステップと、

前記処理装置によって、前記非プライベート要素に、前記プライバシーファイアウォールの外側で利用できる情報としてタグ付けするステップと、

前記処理装置によって、前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分からの前記非抽出要素を前記プライバシーファイアウォールの外側での使用が拒否されるものとしてタグ付けするステップと、

前記処理装置によって、非プライベート情報を含む前記第 1 の 1 又は 2 以上のデータ部分及び前記非プライベート要素のうちの 1 又は 2 以上を前記プライバシーファイアウォールの外側に位置する前記リモートコンピュータへ提供するステップと、

を含む方法。

【請求項 13】

プライベート電子データの前記コーパスを分析するステップは、

前記処理装置によって、プライベート電子データの前記コーパスが除外リスト上のソースから取得されたものであるかどうかを判定するステップと、

データの前記コーパスが前記除外リスト上のソースから取得されたものである場合、前記処理装置によって、プライベート電子データの前記コーパスに、前記プライバシーファイアウォールの外側での使用が拒否されるものとしてタグ付けするステップと、

を含む、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

プライベート電子データからプライバシーファイアウォールの外側に位置するリモートコンピュータへ非プライベート情報を決定して提供するプライバシーファイアウォールの実装方法であって、

処理装置によって、ストレージリポジトリに含まれるプライベート電子データのコーパスを分析して、非プライベート情報を含む第 1 の 1 又は 2 以上のデータ部分と、プライベート情報を含む第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分とを識別するステップと、

前記処理装置によって、前記第 1 の 1 又は 2 以上のデータ部分に、前記プライバシーファイアウォールの外側で利用できるものとしてタグ付けするステップと、

前記処理装置によって、前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が非プライベート要素を含むかどうかを判定するステップと、

前記第 2 の 1 又は 2 以上のデータ部分が非プライベート要素を含む場合、

前記処理装置によって、前記非プライベート要素を抽出するステップと、

前記処理装置によって、前記非プライベート要素に、前記プライバシーファイアウォールの外側で利用できる情報としてタグ付けするステップと、

前記処理装置によって、非プライベート情報を含む前記第 1 の 1 又は 2 以上のデータ部

分及び前記非プライベート要素のうちの1又は2以上を前記リモートコンピュータへ提供するステップと、

を含み、

前記第2の1又は2以上のデータ部分が非プライベート要素を含むかどうかを判定するステップは、

前記処理装置によって、前記第2の1又は2以上のデータ部分が、他の場所に出現していた1又は2以上の要素を含むかどうかを判定するステップと、

前記1又は2以上の下位部分が他の場所に出現していた場合、前記処理装置によって、前記要素に非プライベート要素としてタグ付けするステップと、

前記処理装置によって、前記第2の1又は2以上のデータ部分が、閾値数の異なるソースから出現した1又は2以上の要素を含むかどうかを判定するステップと、

前記1又は2以上の要素が少なくとも前記閾値数の異なるソースから出現したものである場合、前記処理装置によって、前記1又は2以上の要素に非プライベート要素としてタグ付けするステップと、

前記処理装置によって、前記第2の1又は2以上のデータ部分が、既に公知の情報を含む1又は2以上の要素を含むかどうかを判定するステップと、

前記1又は2以上の要素が既に公知の情報を含む場合、前記処理装置によって、前記1又は2以上の下位部分に非プライベート要素としてタグ付けするステップと、

前記処理装置によって、前記第2の1又は2以上のデータ部分が、1又は2以上の要素が独占情報であると主張できるような複雑な1又は2以上の要素を含むかどうかを判定するステップと、

前記1又は2以上の要素が複雑である場合、前記処理装置によって、前記1又は2以上の要素に、前記プライバシーファイアウォールの外側での使用が拒否されるものとしてタグ付けするステップと、

前記処理装置によって、前記第2の1又は2以上のデータ部分が、認識可能な連続性を有する1又は2以上の要素を含むかどうかを判定するステップと、

前記1又は2以上の要素が認識可能な連続性を有する場合、前記処理装置によって、前記1又は2以上の要素に、前記プライバシーファイアウォールの外側での使用が拒否されるものとしてタグ付けするステップと、

前記処理装置によって、前記第2の1又は2以上のデータ部分が、正確なタイムスタンプを有する1又は2以上の要素を含むかどうかを判定するステップと、

前記1又は2以上の要素が正確なタイムスタンプを有する場合、前記処理装置によって、前記1又は2以上の要素に、前記プライバシーファイアウォールの外側での使用が拒否されるものとしてタグ付けするステップと、

を含む方法。

【請求項15】

前記第2の1又は2以上のデータ部分が非プライベート要素を含むかどうかを判定するステップは、

前記処理装置によって、前記第2の1又は2以上のデータ部分が、細分性閾値を下回るタイプスタンプを有する1又は2以上の要素を含むかどうかを判定するステップと、

前記タイムスタンプが前記細分性閾値を下回る場合、

前記処理装置によって、前記1又は2以上の要素を、前記細分性閾値を上回る時間範囲に調整するステップと、

前記処理装置によって、前記1又は2以上の調整した要素に非プライベート要素としてタグ付けするステップと、

を含む、請求項12に記載の方法。

【請求項16】

前記第2の1又は2以上のデータ部分が非プライベート要素を含むかどうかを判定するステップは、

前記処理装置によって、前記第2の1又は2以上のデータ部分が、細分性閾値を下回る

地理的位置を有する 1 又は 2 以上の要素を含むかどうかを判定するステップと、

前記地理的位置が前記細分性閾値を下回る場合、

前記処理装置によって、前記 1 又は 2 以上の要素を、前記細分性閾値を上回る地理的位置に調整するステップと、

前記処理装置によって、前記 1 又は 2 以上の調整した要素に非プライベート要素としてタグ付けするステップと、

を含む、請求項 1 2 に記載の方法。

【請求項 1 7】

前記第 1 の 1 又は 2 以上のデータ部分及び前記非プライベート要素のうちの 1 又は 2 以上を前記リモートコンピュータへ提供するステップは、

前記処理装置によって、ユーザインターフェイスを介して前記クエリに対する応答をユーザに提供するステップを更に含み、前記クエリに対する前記応答は、非プライベート情報を含む前記第 1 の 1 又は 2 以上のデータ部分及び前記非プライベート要素のうちの 1 又は 2 以上から取得された情報を含む、請求項 1 2 に記載の方法。

【請求項 1 8】

プライバシーファイアウォールを通じてプライベート電子データからプライバシーファイアウォールの外側に位置するリモートコンピュータへ非プライベート情報を提供するシステムであって、

非プライベート情報として、配信すべきでないプライベート情報として、配信すべきプライベート情報の非プライベート要素として、又は非個人化されたプライベート情報としてタグ付けされたプライベート電子データのコーパスを含む、前記プライバシーファイアウォールの内側のデータストレージリポジトリであって、前記非プライベート要素はプライベートではない前記プライベート情報から導出される前記プライベート情報又は追加データの部分である、データストレージリポジトリと、

処理装置と、

1 又は 2 以上のプログラム命令を含む非一時的プロセッサ可読記憶媒体と、を備え、

前記 1 又は 2 以上のプログラム命令は、実行時に、前記処理装置に、

前記プライバシーファイアウォールの外側に位置する前記リモートコンピュータから質問を含む検索文字列を受け取ることと、

前記検索文字列に対応する前記プライベート電子データの 1 又は 2 以上の部分を求めて前記データストレージリポジトリを検索することと、

前記電子データの前記 1 又は 2 以上の部分が、前記非プライベート情報、前記配信すべきプライベート情報の非プライベート要素、又は前記非個人化されたプライベート情報を含む場合、前記リモートコンピュータへ応答を提供することであって、前記応答は、前記非プライベート情報、前記配信すべきプライベート情報の前記非プライベート要素、又は前記非個人化されたプライベート情報を含む前記電子データの前記 1 又は 2 以上の部分の内部に格納された情報を含むものである、提供することと、

前記非プライベート情報、前記配信すべきプライベート情報の非プライベート要素、又は前記非個人化されたプライベート情報ではない前記プライベート情報の残部を使用が拒否されるものとしてタグ付けすることと、

を行わせる、システム。